

目 次

1.はじめに	1
2.既往のケーソン式防波堤の設計法の整理	2
2.1 安全率に基づく設計法	2
2.2 力の釣合いに基づく設計法	3
2.3 滑動量に基づく設計法	4
3.制御対象の違いによる破壊確率の相関性	6
3.1 検討条件の設定	6
3.2 滑動量に基づく破壊確率と期待滑動量	6
3.3 滑動量に基づく破壊確率と実被災事例	6
3.4 力の釣合いに基づく破壊確率と滑動量に基づく破壊確率	7
3.5 許容滑動量の変更による設計の合理化の検討	9
4.簡易滑動量算定モデルの構築	9
4.1 既往の滑動量算定モデル	9
4.2 簡易滑動量算定モデルの構築	10
5.滑動量に基づくレベル1の信頼性設計法	12
5.1 性能閾数	12
5.2 変動係数および感度係数	12
5.3 部分安全係数	14
6.まとめ	17
7.おわりに	17
謝辞	17
参考文献	18
付録A 検討対象としたケーソン式防波堤の設計条件	19
付録B 三角パルス波力に対する滑動量算定式の導出	25